

2024-2025

Rotary



第2760地区 豊橋ゴールデンロータリークラブ

WEEKLY

例会場 ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
 事務局 豊橋市藤沢町141
 ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
 TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
 http://www.toyohashi-golden-rc.gr.jp
 email golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp

ステファニー A. アーチック会長
 RIテーマ

吉川公章ガバナー
 地区方針

本多英司会長
 クラブ方針

THE MAGIC OF ROTARY

魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動
 成長するロータリー

選ばれるブランドを育てよう

第34回(通算1692回)例会報告	令和7年3月21日(金)	卓話例会
ゲスト	一般社団法人パーソナルラボ 専務理事・東三河支所長 金田文子氏	
出席報告	総会員数54名(計算会員数50名) 欠席14名 出席率72.00% 前々回修正出席率89.80%	
歌/会場	上を向いて歩こう	会場: ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間

本多英司会長



みなさんこんにちは。

先日、とある戦いの場所で、きれいに咲く梅の花をみました。梅の花は今の時期、透き通るような甘い香りで、春を感じさせてくれます。春告草(はるつげぐさ)という名を持つ通り、早春の訪れを告げていました。

そして梅の次は桜ですね。そろそろソメイヨシノが南の方から開花し、東海地方も来週には開花が始まるようです。同時に若葉も一斉に芽吹き始めます。僕は強い生命力を感じるこの時期が1年で一番大好きで、何だかワクワクしてきます。暖かい春とともに、世界が明るい雰囲気になっていくといいですね。

今日の会長の時間では、まず先週の理事会での承認事項を報告させていただきます。

① 4月4日 卓話例会

とよはし都市型アートイベント **sebone** 実行委員会から、木下ひろき実行委員長をお招きします。**sebone** というイベントは、駅前水上ビルがちょうど人間の背骨の形に似ていることからその名が付き、アートの力で人と街を元気にし、多くの方から「選ばれる街」となるために活動をしているそうです。今回、その活動の取り組みについてお話をお聞かせします。

またこの日は、新たに仲間になる4名の方の入会式が執り行われます。賑やかな例会になりますので、みなさん楽しみにしててください。

② 4月11日 春を感じる例会

ここ数年、春を感じる例会は、ここの会場で春の楽曲を聞きながら過ごしていましたが、今年は高橋プログラム委員長渾身のプログラムの一環として、二川宿の庄屋「駒屋」さんにて春を感じる例会を開催いたします。暖

かい春の日差しの中、良い例会になること間違いありません。

またこの日も、新たに仲間になる1名の方の入会式が執り行われます。みなさま、両方とも楽しみにしてください。

③ 4月18日 ラーニング委員会担当例会

今年高井委員長率いるラーニング委員会は、フォーラム・5年未満研修・ファイヤーサイドミーティングと、「会員がロータリーを自ら学ぶ雰囲気づくり」を目指して、とてもアグレッシブに活動していただいております。その集大成として、今回この例会で、委員会の所見をお話していただけるそうです。

さらにもう一つ、既にみなさんにご案内が届いていると思いますが、高井ラーニング委員長からの提案で、通常年1回のファイヤーサイドミーティングをさらにもう一度、開催することを承認しました。当初3月に開催する提案でしたが、5人の新入会員の入会時期を考慮して、高井委員長が機転を利かせて4月開催で提案していただきました。みなさん多くのご参加お願いいたします。

④ 4月25日 イニシエーションスピーチ例会

先ほどお話したように、4月に5名の新入会員が仲間に加わります。できれば今年度中に5名全員にイニシエーションスピーチをしていただこうと、今はまだ入会していないので少し気が早いですが、今回の理事会で提案され、承認されました。

できるだけ一人一人お話しできる時間をしっかり確保したかったので、2回に分けて開催することとしました。4/25はその1回目、3人の方にお話しさせていただきます。

どんなお話が聞けるか、みなさま、楽しみにしてください。

それ以外の事項として太田委員長率いる青少年奉仕

委員会の事業概要が提出され、大枠が承認されました。

これは太田委員長肝いりの事業で、北部中学校・豊橋市・GRC がコラボして、北部中学校にて開催します。北部中学校の全校生徒と先生方が参加し、避難所運営ゲーム「HUG」というゲームを通じて、子供たちに防災に関する学びと、人間形成を促すといった内容です。日時は5月30日金曜日13:30～。詳細は次回理事会にて承認する予定です。決まり次第告知しますので、事業概要と日程だけ、先に押さえておいてください。

以上、理事会承認事項の報告でした。

次に、少しだけ今日お招きした金田文子さんの紹介をさせていただきます。

金田さんとはとても古い付き合いで、たくさんの事業を一緒に行ってきました。この会場にいる誰もが知っている事業も、一緒に立ち上げてきました。

一緒に活動をしていてつくづく感心するのは、彼女の伝える能力の高さ・言葉選びの上手さ・表現力の高さ。実は何度かあいさつ文を添削してもらったこともあります。

今回お招きするきっかけになったのは、インスタグラムでの発信について相談したのがきっかけでしたが、快く引き受けていただきました。ありがとうございます。

あまりに身近すぎてこういう形でお話を聞くのは初めてですが、とても楽しみです。金田さん、今日はどうぞよろしくお願ひいたします。

以上、会長の時間でした。ご清聴ありがとうございました。

米山カウンセラー

杉田和俊会員

奨学生：ホヰン ガン ナム
出身国：ベトナム
期 間：2025.4.1～2027.3.31



入会記念日祝い

青山泰三会員



東三河分区IM報告

セレモニーについて



3月8日（土）、国際ロータリー第2760地区2024-2025年度インターシティミーティングへ参加致しました。

式典において、ホストクラブ（田原RC）金田会長の挨拶から始まり吉川公章ガバナー挨拶の後、来賓紹介、出席クラブ紹介があり、最後に安田幸雄ガバナー補佐から豊橋南ロータリークラブ榎原周造次期ガバナー補佐が紹介されました。皆さんの挨拶を拝聴して、インターシティミーティングは他クラブの親睦交流と様々な気づきを得ることができる大会だと感じました。

基調講演について



神谷 馨会員

学校の役割と人口減少への対応
学校の役割は、地域の子どもたちを地域で育てることです。しかし、近年の大きな課題として、急速に進む子どもの減少が挙げられます。

子どもの減少とその影響

2005年をピークに子どもの数は減少に転じ、2035年には現在より県単位で1万人、東三河では1683人が減少すると予測されています。さらに、2035年以降は現在の3倍のスピードで減少が進むと考えられています。この地域においては鳳来寺高校が廃校になり、地域が消滅の危機を迎えています。しかし、マーケティングを活用した大胆な改革により、素晴らしい成果を上げている学校も数多く存在します。

事例：島根県立隠岐島前高校

隠岐島前高校では、地域の特産品を生かした魅力的な取り組みを行い、全国から生徒を募集しています。その結果、

- 島の人口が5%以上増加
- 地域の消費額が3億円増加
- 歳入額が1.5億円増加
- 3000万～4000万円/年の財政効果

といった成果を生み出しています。このように、人口減少地域に適した持続可能な学校づくりが可能であることが示されました。

事例：福江高校の改革 2017年福江高校 校長

2017年、福江高校では定員割れ対策が急務となりました。原因としては、

- 人口減少
- 3人に1人が市外へ流出

● 中学校の統廃合による通学の負担増などがありました。そこで、スクールバスの導入や新たな教育的ニーズの調査を行いました。その結果、特別支援学校の設立や、長時間通学の負担軽減策が実施されました。翌年には「潮風教室」を設置し、学校全体の評価が向上。9年ぶりに定員を超える120名の入学希望者が集まり、V字回復を遂げました。

事例：御津高校（現在の御津あおば高校）2020年御津高校 校長

2020年、御津高校でも定員割れが深刻化し、200名の定員に対し143名という状況でした。ブラジル、フィリピンなどをルーツに持つマルチリンガルの多数在籍や、通学が不便といった状況で、外国人生徒への日本語指導の強化や不登校生徒への対応強化が求められました。

改善対策として（インクルーシブ）見かけの平等→結果として公平

- 個別最適な学べるプログラム
- 学び直しが出来るプログラム
- 多様な子供達が継続可能なプログラム

在籍途中で異動可能な二つの制度

- 全日制単位制(3年級程度)
一般の生徒
卓越した言語能力をもつ生徒
外国にルーツをもつ生徒や特別に支援が必要な生徒
- 昼間定時制
日本語指導が必要な生徒
不登校の経験がある生徒
長期係養を必要とする生徒

といった改革を実施しました。その結果、多様な生徒が継続的に学べる環境を整備し、希望生徒数が定員の7.48倍に増加しました。

事例：時習館高校の取り組み 2023年時習館高校 校長
時習館高校は2026年に中高一貫教育を導入します。教育目標の柱ともなっている「自ら考え自ら成す」のもと

- 国際的に活躍できる人材の育成
 - 地域を愛しリーダーとして活躍できる人材の育成
 - チェンジメーカーとして人口減少、貧困、ウイルス感染症、戦争、地球温暖化といった答えのない課題に果敢にチャレンジする人材の育成
- を目指し、地域の子どもたちに最適な学習環境を実現することを目標に探究学習を行なっています。

最後に

人口減少による危機に直面する中で、現状を維持しながら衰退するのか、それともリスクを取りながら未来の幸せを追求するのか、私たちには選択の余地があります。ウェルビーイングを目標に努力を続けていきましょう。

基調講演

人口減少とどう向き合うか ～ マーケティング思考を実装する～

【講師】

・時習館高等学校長 寺田 安孝 氏
〈経歴〉

2017年 福江高校校長
中高一貫教育開始 観光ビジネスコース(1学級)導入
特別支援学校分教室「潮風教室」の設置
2020年 御津高校(現御津あおば高校)校長
外国籍生徒を中心とした多様な子どもたちに対応できる幅広い学びの体制導入
2023年 時習館高校校長

・(株)HONE 代表 桜井 貴斗 氏
〈経歴〉

札幌生まれ、静岡育ち。大学卒業後、大手求人メディア会社で営業をしたのち、任天堂で新規事業の立ち上げ等に携わる。「売り手都合の営業スタイル」に疑問を感じていた矢先に、グローバル経営大学院その後、新たな新規事業の立ち上げを経て、2021年に独立。現在はクライアントのマーケティングやブランディングの支援、メーカーのためのコミュニティ運営などに取り組んでいます。

卓話「伝えたい相手に伝わるブランディング ～入りたい・続けたい“両想い”の組織作り～」



高橋哲也プログラム委員長

金田文子（かなだあやこ）様、1968年豊橋生まれ。一般社団法人パーソナルラボ専務理事・東三河支所長。飲食業やIT系の営業職など会社員として管理職を経験。

部下の育成に苦慮する中、縁あって心理学に出会う。

2010年：内閣府から出された「子ども・若者育成支援推進法」をヒントに、
2011年：一般社団法人東三河セーフティネットを設立。官民連携し地域の子ども若者を支える仕組みづくりを始める。
2021年～内閣府「子ども・若者支援地域ネットワーク強化事業」アドバイザー

愛知県「子ども・若者の育成支援を考える有識者会議」委員

2023年～一般社団法人パーソナルラボと合併、同法人東三河支所となる

こども家庭庁「こども・若者支援体制整備及び機能向上事業」アドバイザー

また、2017年から現在までに、豊橋市、西尾市、岡崎市、豊田市、安城市の「こども・若者総合相談センター」機能を各自治体より受託。法人内37名の相談支援職員のスーパーバイズを担当。その他、蒲郡市、新城市、幸田町で相談支援や不登校対策のアドバイザーを務める。



一般社団法人パーソナルラボ
専務理事・東三河支所長

金田文子氏

設立15年を迎えた法人の経験から、ブランドの作り方、スタッフと両想いを続けるコツをお話し

しました。

<自己紹介>ほぼ豊橋で生まれて育ち、子育てや介護をしながらの会社員時代、部下の退職が続いたことから心理学を学ぶ。その後、内閣府が子供若者育成支援推進法を施行したことをきっかけに法人を設立。前例がなくなかなか理解されなかったが15年間「ニッチなブランディング」に取り組み、多くの自治体とコラボしている。

<1. 決める>決めるとは「腹をくくる」こと。①目的…何のために？②目標…何を？（金田の場合：①子ども・若者が自分の人生の歩き方を自分で見つけられる社会づくりのため、②まちの規模に合わせて応用できる仕組み作り）

<2. 伝える>①何を伝えるか、②誰に伝えるか、③どう伝えるか、（特にポイントは「相手にイメージで

きる」ように伝えることと、心に届き腹に落ちるまで繰り返し伝えること）

<3. 聴く>①必要としてくれる人（その活動を必要としている人の、何に困っているか、何があったらよいかを聴く）②仲間になる人（一緒に活動をする人の、何がやりたいか、何ができるのかを聴き、人生のものがたりを共有する。

<採用の基準>共に歩むためには「自分の幸せを自分で創ることができる人」を見つける。

<ブランディング>「ブランディングとは、あり方を示すこと」それぞれの価値観、信頼性、独自性など、その組織の在り方と個人の在り方、共有した物語を融合していくことでより力強いブランドに育つ。

<さいごに>

金田のブランドを示すフレーズ「子どもたちが大人になることを楽しみにできる そのために 大人は大人であることを愉しむ」を共有。

子どもたちの興味や関心が失われることなく、その子がいずれ自分の人生を自分で見つけられる地域になることを願っています。ご縁に感謝いたします。



月間出席報告
松島弘和出席副委員長



ニコボックス発表
岡本久永ニコボックス委員

★ニコボックス

本多英司・鬼頭秀幸：今日は金田文子さんの卓話です。久しぶりに魔法の声が聞けるので楽しみです！

杉田和俊・本多英司・高井龍雄・

加藤ゆり子・浅井大介・青山泰三・

伊藤角栄・村松 光・酒井正樹：金田文子ようこそ！

卓話楽しみです！！

青山泰三：入会記念日をお祝い頂き。

神谷 馨・鶴殿健次：IMの報告をさせて頂き。

高橋哲也：金田文子様本日の卓話よろしくお願ひ。

真野善和：ツオルモン アリウナーさんの送別会に多数のご参加を頂きありがとうございました。皆様のご支援のお陰でカウンセラーの任をまっとうすることができました。

山口幹夫：例会参加の支援に感謝しています。

牧 岳大：アリウナーさんの送別会に出席できずすみません。今後の活躍を楽しみにしています。

岡本久永：ニコボックスを発表させて頂き。

岡本久永ニコボックス委員

★幹事報告

・東三河分区 IMのお礼状が届いております。

★他クラブの例会変更

■4月 3日(木) 田 原RC 環境整備のため

■4月 7日(月) 豊橋南RC クラブ創立記念例会

■4月 9日(水) 渥 美RC 職場見学例会